

令和6年度 山形のみちづくり評議会 議事要旨

■ 日時・場所

令和7年1月27日（月）14:00～15:50（山形県自治会館2階201号会議室、WEB併用）

■ 出席委員

柴田会長、貝山委員、塩原委員、鈴木委員(WEB)、佐藤委員、森田委員、小林委員 7名

■ 議事概要

議題 令和5年度 道路事業の達成度報告

（事務局説明）

- ・ 19の指標のうち、15の指標で前年度からの進捗が見られた。また、R5年度末目標値について、19の指標のうち、14の指標で目標を達成した。
 - ・ その他の指標については、前年度から変化がないものもあるが、高規格道路の多くの区間が事業中であり、今後開通することで効果が表れることが期待されるため、目標値の達成に向け概ね予定通り事業が進捗していると判断できる。
 - ・ 全体的に概ね予定通り取り組みが進捗している。
- ➡ 令和5年度達成度報告書について委員より意見をいただいた。主な意見は以下の通り。
- ・ 高規格道路を整備するにあたり、その機能を最大限に発揮するためには周辺のアクセス道路もあわせて一緒に整備することが重要である。
 - ・ 市街地の道路整備などで、大事な文化遺産など残すべきものは残して整備を進めるべき。
 - ・ 委員会や住民等からの意見を踏まえ、様々な検討・工夫の結果、当初計画を一部見直した上で当初計画を達成できた事業については、その経緯を加えて公表しても良いと考える。
 - ・ 山形県内の道の駅は1つ1つの道の駅は魅力があるものの、ネットワークとして十分に活かしきれていないので、うまく工夫して線や面として展開させることにより人の流れを生み出すことができる。
 - ・ 新規の「道の駅」整備だけでなく、既存の「道の駅」再整備に対しても支援が必要。
 - ・ 道の駅の防災機能についても、地域に密着した形で検討を行うことが重要。
 - ・ 当初の目標値を実績が上回った指標については、効果を把握し、データを将来に活かしていくことが必要である。
 - ・ 指標によって県民にわかりにくい指標もあることから、補足説明を加えるなどの工夫が必要である。

以上